



〈企画展示〉

入館無料

戦災にあった名古屋のまち

— 発掘出土品が語る戦時下の市民生活 —

約115万人の人々が暮らす昭和戦前期の名古屋市は、全国有数の工業都市で、兵器や機械を製造する軍需産業が発達していました。昭和19年(1944)12月13日から始まった空襲では、軍需工場が攻撃の対象とされましたが、昭和20年(1945)3月からの空襲は、公共施設、会社、一般住居など市街地すべてを攻撃対象とし、全焼・全壊など135,416戸、死者7,858人、負傷者10,378人など大きな被害を受けました。

今回の企画展では、市内の遺跡の発掘調査で出土した戦前期の品や戦中・戦後の焼土、瓦礫を通じて、戦災にあった名古屋を疑似体験します。



松脂採取のあと 名古屋城跡



狸の徳利 高蔵遺跡出土(熱田区)



陶製煙管 正木町遺跡出土(中区)



土人形 高蔵遺跡出土(熱田区)



被災した瓦

2021年7月16日(金) - 11月7日(日)

場所：愛知・名古屋 戦争に関する資料館
名古屋市中区丸の内三丁目4番13号 愛知県庁大津橋分室 1階

開館時間：午前10時～午後4時

休館日：月曜日・火曜日(祝日の場合は開館し、直後の平日が休館)
※夏休み期間中(7月21日～8月31日)は無休

主催：戦争に関する資料館運営協議会(愛知県と名古屋市が共同で設置)



愛知県庁大津橋分室

「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」は、県民の皆様から寄せられた、戦争に関する実物資料の展示を行うことにより、戦争体験を次の世代に引き継ぎ、戦争の残した教訓や平和の大切さを県民が学ぶことにより、平和を希求する豊かな心を育み、平和な社会の発展に寄与することを目的としています。



《 展示コーナーのご案内 》 「県民の戦争体験」と「戦争に関わる地域史」を軸とする地域性を重視した展示コーナーを配し、資料を通じて来館者自らが平和や戦争について考えていただく展示としています。

2 県民の戦争体験Ⅰ（銃後のくらし）



このコーナーでは、戦時体制下のこの地域における県民の生活や学校教育などの資料を展示しています。戦争が人々の暮らしに及ぼした影響を紹介します。

3 県民の戦争体験Ⅱ（軍隊・戦地）



このコーナーでは、県民の軍隊生活や戦場体験などの資料を展示しています。当時の人々にとって軍隊に入ることや戦場に立つことがどのようなものであったかを紹介しています。

1 戦争に関わる地域史

このコーナーでは、名古屋空襲を中心に、戦前の都市化・工業化、戦中の動向など、この地域で起こった出来事の資料を展示しています。



4 戦後の地域史



このコーナーでは、戦後改革、戦地からの復員、復興とまちづくりなどの資料を展示しています。終戦後の地域の様子や名古屋の街の変遷を紹介します。

5 企画コーナー



このコーナーでは、定期的に、戦争に関するさまざまなテーマでの企画展示を行います。

7月31日～8月11日

夏休み特別企画 のご案内

「戦争体験談を聞く会」

（対象：小中高生）

「原爆被災体験を聞く会」

（対象：一般）

「専門家による特別講座」

（対象：一般）

7月23日（金）までに要事前申込

詳細はホームページをご覧くださいか、お問合せください。

◎団体見学（要予約）

当館では、5名から10名までの団体による見学を受け付けています。ご希望に応じて、展示資料等の説明も可能です。（30日前までにお申し込みください。）

◎戦争体験ビデオの貸出（要予約）

戦争体験のない県民が、戦争の悲惨さや平和の大切さを実感するための貴重な資料として、戦争体験者の協力を得て、戦争体験ビデオ（DVD）を制作し、貸出しを行っています。

◎資料の寄贈について

当館では、県民の皆様から寄贈された実物資料を中心に展示を行っています。寄贈のご相談は、「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」までご連絡ください。



【交通案内】

- 地下鉄名城線「市役所」4番出口から南へ徒歩約5分
 - 地下鉄桜通線・名城線「久屋大通」1番出口から北へ徒歩約8分
 - バス「大津橋」から徒歩約1分
- ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

愛知・名古屋 戦争に関する資料館

〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目4番13号 愛知県庁大津橋分室 1階
TEL：(052)957-3090 FAX：(052)957-3091



愛知・名古屋 戦争に関する資料館 検索 <https://www.pref.aichi.jp/kenmin-soumu/chosakai/>

※当館の展示資料（映像資料を除く）は、非営利かつ私的使用の目的での写真撮影が可能です。